

2012年1月開講 夜間部アドバンスコース

震災やユーロ危機などさまざまなリスクに直面する日本社会において、広報・PRのあり方、果たすべき役割も明らかに変化してきています。2011年度のアドバンスコースでは広報・PRパーソンに求められる最新の潮流を各方面の第一人者の方に講義いただくとともに、最後の2コマはグループ課題にとり組み、最終日にプレゼンテーションを実施。講座中盤には、プレゼンテーションのテーマとして扱いたいものを受講者から募り、投票して4つほど選び、各グループがその課題の発表を行う予定です。

＜夜間部アドバンスコース カリキュラム＞				
		曜	講義内容	テーマ・予定講師
1	1月31日	火	「時代の変遷と広報・PRの役割の変化～」	生駒 芳子氏（ジャーナリスト） 著名ファッション誌の編集長経験をベースに、国内外のラグジュアリー・ブランドやファッション界の動向にとどまらず、アートやエコライフ、そして社会貢献活動まで広い視野でトピックを追い、発信するジャーナリストが、3.11後に大きく変わった広報・PRのメタトレンドを、具体的な事例をもとに講義します。
2	2月7日	火	「広報戦略の企画立案と効果測定」	清水 正道氏（淑徳大学 国際コミュニケーション学部教授） 企業にとって「永遠の課題」と言える広報の戦略計画立案と広報ツール効果的活用、そして広報効果の評価・測定。従来型の広報マネジメントの限界が露わになるなか、日本能率協会広報部長・主任研究員、参議院客員調査員等を経て現在、大学の教壇に立つ同分野の第一人者が、「共感のコミュニケーション」をキーワードに新たな広報・コミュニケーションのあり方を解説します。
3	2月14日	火	「ソーシャルメディア活用のPR戦略」	大手広告代理店 メディアプランナー 従来からのペイドメディア、オウンドメディアに続き、第3のメディアとしての地位を獲得したSNSやブログなどアウンドメディア。これからの企業の情報発信に欠かせない「トリプルメディアマーケティング」戦略を着実に実現するために、アウンドメディアの特徴やPRツールとしての可能性と限界点、今後の展望などについて、その第一人者が解説します。
4	2月21日	火	リスクマネジメント (不良品、リコール、情報漏えいなどの危機管理)	佐々木 政幸氏（アズソリューションズ代表） 日本たばこ産業(JT)の広報職の通じて培ったリスクマネジメントのノウハウを、「クライシス・トレーニング」と称する実践演習なども交えながら学び、広報業務につきまとう危機の際の迅速力、判断力、決断力を身につけてもらいます。
5	2月28日	火	ブランディング	松本 正文氏（NETS-COM.INC.代表取締役） 大手百貨店を始めとする国内外の大規模商業施設の開発に長く、深く携わった経験に基づいて、「モノが売れない時代」「消費者が買わない時代」におけるブランディング、リプライディングの極意を、化粧品業界の事例を題材に学びます。
6	3月6日	火	ワークショップ① 課題選定	高橋信之（株式会社ワグ副社長／エファップ・ジャポン事務局長） 1～5の講義で学んだ知識と体験をベースに、3～5人のグループに分かれてプレゼン課題を決定します。高橋信之（株式会社ワグ副社長／エファップ・ジャポン事務局長） 1～5の講義で学んだ知識と体験をベースに、3～5人のグループに分かれてプレゼン課題を決定します。
7	3月13日	火	プレゼンテーション スキル	井上 敏之 氏（スピーチ・ディベート研究所 代表） プレゼンテーションに欠かせないディベートのノウハウを実践形式で学びます。
8	3月21日	水	ワークショップ② プレゼン発表・総論	伊藤美恵（株式会社ワグ代表／エファップ・ジャポン学長） & 高橋信之（株式会社ワグ副社長／エファップ・ジャポン事務局長） PRエージェント代表であり、現役のアタッシュェ・ドゥ・プレス(A.d.P)としての立場から、受講者がチームごとに行うプレゼンテーションを評価。すぐに役立つA.d.Pとしての現場対応力を高めます。